

1F-EH 科学者×コミュニケーター、ただいま接続中。― 生物学研究と社会をつなぐ多様なカタチ

Scientists × Communicators: Now Connecting – Diverse Ways to Link Biological Research and Society

日時: 12月3日(水) 19:15-20:30

会場: パシフィコ横浜 展示会場「このゆび、とーまれっ」企画スペース

オーガナイザー: 小島 響子(名古屋大学)、岩見 真吾(名古屋大学)

分子生物学会は、生物学分野における国内最大級の学会であり、毎年幅広いトピックで議論が行われている。本フォーラムでは「サイエンスコミュニケーションにおける多様な媒体を用いたアプローチや、生物学研究と社会をつなぐ取り組みの課題・展望」に焦点を当てる。科学者とサイエンスコミュニケーターの視点の違いや、専門性のあり方を議論しつつ、テレビ・新聞・教育・ビジュアライゼーションなど各分野の最前線で活動するパネリストが、実践知や課題を共有する。俯瞰力をキーワードに、科学者とコミュニケーター双方の立ち位置を整理し、生物学研究を社会と結ぶ協力体制の可能性を探る。

趣旨説明

19:15-19:16 岩見 真吾(名古屋大学大学院理学研究科)

パネルディスカッション

19:16-20:30 ファシリテーター: 小島 響子(名古屋大学)

- ・ 榊 太一(同志社大学)
- ・ 本田 隆行(フリーサイエンスコミュニケーター)
- ・ 有賀 雅奈(桜美林大学)
- ・ 渡辺 諒(毎日新聞)
- ・ 内田 麻理香(東京大学)

テーマ

- ・ サイエンスコミュニケーターの専門性と役割
- ・ 俯瞰力を活かした科学発信の実践と課題
- ・ 生物学分野の科学コミュニケーションを活性化する「場」づくりと展望